

この学校にわたしたち

2023. 9. 11

N030

家庭学習と授業との連動



運動会や遠足が近づいてくると教室の窓に
るてるぼうずがつるしてあることがよくあります。
きっと子どもたちが「ぜひとも晴れてほしい」との
願いをこめて一生懸命作ったのだろうと想像す
ると微笑ましく思えます。地球沸騰化のせいなの
か、今年は熱帯低気圧から次々と台風が発生
し、ダブル台風・トリプル台風の状況がしばらく続
いています。河川の増水・氾濫や土砂崩れなど
災害のニュースも多く聞きます。お盆に接近した

台風の影響で通勤途中の川の水位も道路と変わらぬところまで上昇しているのを見ました。6
月、梅雨の時期であるにも関わらず、異称は「水無月(みなづき)」と呼びますが、これは一説には
「水悩月」を語源とし、「水に悩まされる時期」を表現したものと言われます。全国のごとも被災しな
いよう、行事に関係なくるてるぼうずを作っておきたい気持ちでいっぱいです。さて、このハツ山
地区においてもかつて国道165号線沿いの店舗が土砂崩れにあい、その後、閉店したと聞きました。
ちょうど今、4年生の社会で「自然災害」について学習をしています。今回は家庭学習としてタ
ブレットを持ち帰り、調べたり聞き取ったりしてくると担任から聞きました。津市においては家庭学習
で調べたり、聞き取ったりし、それをういた授業を行っていくことにより子どもたちが主体的に学習
していくことを大切にしています。タブレットは持ち帰りによる破損で修理代の心配もありますが、今
後も各学年で家庭学習と授業を連動させながら、「学びの質」を高めていきたいと考えていますの
でご理解とご協力を宜しくお願いします。

コミュニケーションの第1歩は元気なあいさつから

民間企業のコミュニケーションに関する研修を担当しているある人が「重要なコミュニケーション能力の
一つは自分から心をこめて挨拶をすること」であると話しているのを聞いた記憶があります。一説には人の
第一印象は①表情・態度②声の調子③話す内容の順に決まると言われています。私はかつて担任をしてい
る時に学級の子どもたちに「あいさつに関して人は3つのタイプがあり、1つは自分からあいさつする人、2つ
目は相手があいさつしてくれたら返す人、3つ目は相手からあいさつされてもしない人
だよ。自分はどのタイプでありたい？」と聞いたことがあります。子どもたちは1つ目のタ
イプを目指し、顔を見たらすぐにあいさつするようになりました。朝、校長室のドアを開け
て「おはようございます」と元気に入ってきてくれる児童がいます。私もどの子に対しても
明るく爽やかなあいさつができるように心がけていきたいと思えます。

